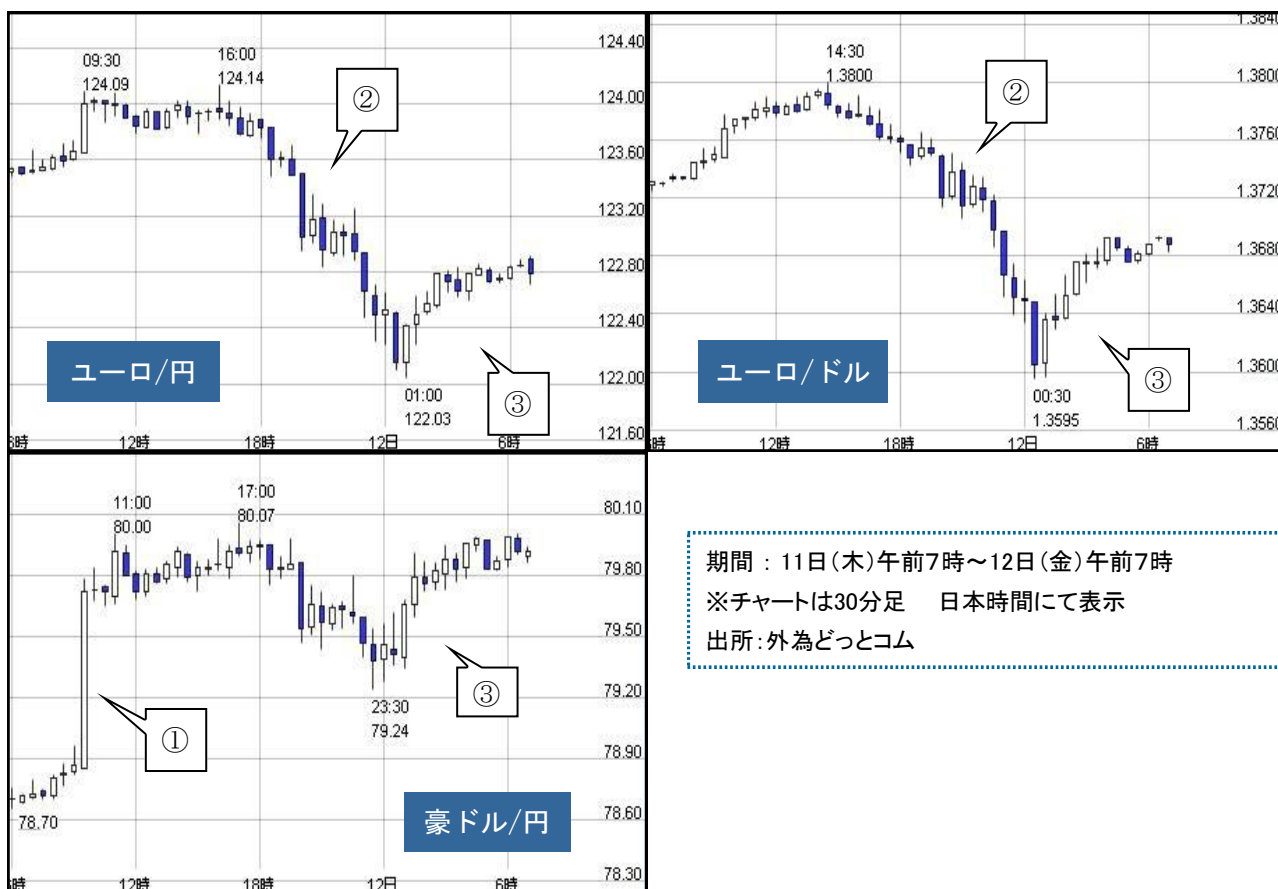


2月12日(金曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

具体策に欠けるもギリシャに一定の安心感

11日(木)の主な推移



期間：11日(木)午前7時～12日(金)午前7時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

①

1月の豪雇用統計で、失業率は5.3%と予想を下回り、新規雇用者数では5.27万人増と大幅に予想を上回ると、これを受けて豪ドル/円はほぼ1円の急上昇となった。その後、11時に発表された中国の1月消費者物価指数が、予想を下回る+1.5%となったことで、中国のインフレ懸念が後退し、早期引き締め観測も後退した。これを受けて、豪ドル/円は一段高となり、2/4以来となる80円台まで上昇した。

②

ユーロ/円、ユーロ/ドルは、EU首脳会議の結果待ちで小動きとなっていたが、ポンド/円・ポンド/ドルの急落につれて、下落した。その後、EUからギリシャ財政再建支援を発表されたものの、具体的な対策が盛り込まれず、協議を15・16日のEU財務相会合へ先送りする内容であったことから、ユーロ円、ユーロ/ドルは一段安の展開となった。

③

米2/7までの週の新規失業保険申請件数が44.0万件に減少する好結果となると、アメリカの雇用環境の改善からドル買いが強まり、ユーロ/ドルは1.3595ドルまで下落した。このユーロ売りにつれて、ユーロ/円も122.03円の安値を付けたが、その後はNYダウが100ドルを超えて上昇したことで、リスクを取ることに積極的となる動きから、ユーロや豪ドルはドルや円に対して上昇に転じた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3600-1.3820ドル
 ユーロ/円 : 122.20-124.20円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 78.80-80.80円

来週 15・16 日のEU財務相会合での、ギリシャの財政再建策支援の継続協議が発表されており、11日のEU首脳会議では、ギリシャ支援への具体策は示されなかっただけに、来週の財務相会合に注目が集まる事になる。そのため、ユーロ相場は来週にポジションを持ち越したくない投資家による短期の取引が中心となりそうで、各国株価や国際商品価格の動向につれて上下する事になるだろう。ギリシャ問題への過度の不安の後退や中国の引き締め観測の後退から、主要国の株価は堅調に推移しそうで、ユーロも底堅い推移が予想される。

1月の雇用統計の強さから、豪州経済の強さを再確認するとともに、中国の1月の消費者物価指数が予想外に小幅な伸びにとどまったことにより、引き締め懸念がやや後退するなど、豪ドル/円相場にとっての支援材料が目立ち始めており、ギリシャ問題についても一定の安心感が出始めている事を考えると、投資家のリスク許容度はある程度復活しそうである。安心感から、各主要国の株価が上昇基調となれば、豪ドル/円も堅調な推移が予想される。

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/12(金)	16:00		(独) 第4四半期 GDP・速報値 [前期比]	+0.7%	+0.2%
	19:00	○	(ユーロ圏) 12月鉱工業生産 [前月比]	+1.0%	+0.1%
	19:00	○	(ユーロ圏) 第4四半期 GDP・速報値 [前期比]	+0.4%	+0.3%
	22:30	◎	(米) 1月小売売上高 [前月比]	-0.3%	+0.3%
	23:55	○	(米) 2月ミシガン大消費者信頼感指数・速報値	74.4	75.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。